



## 2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月10日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東  
 コード番号 5218 URL https://www.ohara-inc.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)齋藤 弘和  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役専務執行役員 (氏名)中島 隆 (TEL)042(772)2101  
 四半期報告書提出予定日 2021年9月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期第3四半期の連結業績 (2020年11月1日～2021年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	17,035	26.7	991	—	1,268	—	836	—
2020年10月期第3四半期	13,443	△26.2	△1,422	—	△1,234	—	△1,541	—

(注) 包括利益 2021年10月期第3四半期 2,387百万円 ( — %) 2020年10月期第3四半期 △2,738百万円 ( — %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	34.35	—
2020年10月期第3四半期	△63.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	52,286	38,339	73.1
2020年10月期	49,621	36,183	72.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 38,230百万円 2020年10月期 36,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年10月期	—	0.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年10月期の連結業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	27.6	1,300	—	1,600	—	1,100	—	45.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社、除外 - 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年10月期3Q	25,450,000株	2020年10月期	25,450,000株
2021年10月期3Q	1,098,578株	2020年10月期	1,110,978株
2021年10月期3Q	24,344,866株	2020年10月期3Q	24,339,047株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託 (BBT)」に係る信託財産として「株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)」が保有する当社株式 (2021年10月期3Q 76,000株、2020年10月期88,500株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、一部地域では感染対策と経済活動の両立が進み、回復に向かいました。米国や中国などでは、ワクチン接種の拡大を受け、緩やかな景気回復が進んだものの、その他の地域では、新型コロナウイルス感染症の変異株による感染拡大が再発するなど、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの光事業の関連市場については、デジタルカメラは、ミラーレスカメラ向けを中心に需要の持ち直しが見られ、堅調に推移しました。また、エレクトロニクス事業の関連市場については、半導体露光装置、FPD露光装置ともに堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は、光学機器向けレンズ材や極低膨張ガラスセラミックスの販売が増加したことなどから、17,035百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

損益面では、売上総利益は、生産設備の稼働率が改善したことや減価償却費の減少などにより4,711百万円（同82.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は、3,719百万円（同7.1%減）となり、営業利益は991百万円（前年同期は1,422百万円の営業損失）となりました。経常利益は、営業外収益として助成金収入を計上したことなどにより、1,268百万円（前年同期は1,234百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどにより、836百万円（前年同期は1,541百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しております。詳細につきましては、（セグメント情報等）をご覧ください。

#### ① 光事業

当事業の売上高は、ミラーレスカメラを中心としたデジタルカメラ市場の回復により光学機器向けレンズ材の販売が増加したことなどから、9,931百万円（前年同期比37.6%増）となりました。損益面では、光学ガラスの需要増加により、生産設備の稼働率が改善したことなどから、営業利益は488百万円（前年同期は781百万円の営業損失）となりました。

#### ② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は、旺盛な半導体需要により、半導体露光装置向け高均質ガラス、石英ガラスの販売が堅調に推移したことや、中小型向け有機ELパネルの需要増加により、FPD露光装置向け極低膨張ガラスセラミックスの販売が増加したことなどから、7,103百万円（前年同期比14.1%増）となりました。損益面では、生産設備の稼働率が改善したことや販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は502百万円（前年同期は641百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は52,286百万円(前連結会計年度末比5.4%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金や投資有価証券が増加したことなどが主な要因であります。

流動資産の残高は30,474百万円(同7.2%増)となりました。これは、受取手形及び売掛金や電子記録債権が増加したことが主な要因であります。

固定資産の残高は21,811百万円(同3.0%増)となりました。これは、投資有価証券が時価評価により増加したことなどが主な要因であります。

流動負債の残高は8,176百万円(同14.4%増)となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加したことや固定負債からの振替により、リース債務が増加したことなどが主な要因であります。

固定負債の残高は5,770百万円(同8.3%減)となりました。これは、リース債務が減少したことなどが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は38,339百万円(同6.0%増)となりました。これは、四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したことや為替換算調整勘定が増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の状況を踏まえ、2020年12月15日公表の業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,553,588	12,751,593
受取手形及び売掛金	4,302,442	6,040,285
電子記録債権	978,422	1,771,615
商品及び製品	3,132,047	2,695,934
仕掛品	4,687,260	4,689,755
原材料及び貯蔵品	2,341,518	2,226,840
その他	494,005	349,396
貸倒引当金	△51,277	△50,747
流動資産合計	28,438,008	30,474,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,116,509	13,545,755
減価償却累計額	△8,840,973	△9,372,047
建物及び構築物(純額)	4,275,535	4,173,707
機械装置及び運搬具	16,840,212	17,162,398
減価償却累計額	△14,717,680	△15,274,458
機械装置及び運搬具(純額)	2,122,532	1,887,940
工具、器具及び備品	11,628,498	11,763,436
減価償却累計額	△3,004,904	△3,079,310
工具、器具及び備品(純額)	8,623,594	8,684,126
土地	308,881	318,393
使用権資産	255,653	289,204
減価償却累計額	△71,384	△86,783
使用権資産(純額)	184,268	202,421
建設仮勘定	382,800	496,207
有形固定資産合計	15,897,612	15,762,796
無形固定資産	447,402	401,352
投資その他の資産		
投資有価証券	4,264,161	5,096,980
長期貸付金	87,000	87,000
退職給付に係る資産	118,651	152,611
繰延税金資産	264,613	248,067
その他	103,825	63,025
投資その他の資産合計	4,838,252	5,647,684
固定資産合計	21,183,266	21,811,833
資産合計	49,621,275	52,286,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,737	1,368,356
電子記録債務	328,750	372,091
短期借入金	3,713,960	3,600,358
リース債務	306,260	765,904
未払法人税等	77,245	218,800
賞与引当金	469,304	451,766
役員賞与引当金	42,634	68,584
環境対策引当金	20,328	—
資産除去債務	31,375	869
未払金	774,786	931,094
その他	506,514	398,254
流動負債合計	7,147,897	8,176,081
固定負債		
長期借入金	1,942,725	1,851,332
リース債務	1,148,713	543,761
繰延税金負債	1,130,835	1,361,106
退職給付に係る負債	1,696,832	1,705,985
役員株式給付引当金	80,841	75,187
資産除去債務	90,653	89,837
その他	199,657	143,548
固定負債合計	6,290,259	5,770,760
負債合計	13,438,156	13,946,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,959,708	7,959,708
利益剰余金	23,597,861	24,189,801
自己株式	△1,503,314	△1,490,100
株主資本合計	35,909,255	36,514,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090,791	1,534,172
為替換算調整勘定	124,772	1,130,689
退職給付に係る調整累計額	△958,494	△949,251
その他の包括利益累計額合計	257,070	1,715,610
非支配株主持分	16,793	109,646
純資産合計	36,183,118	38,339,665
負債純資産合計	49,621,275	52,286,507

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年11月1日 至2021年7月31日)
売上高	13,443,927	17,035,303
売上原価	10,863,814	12,324,235
売上総利益	2,580,112	4,711,067
販売費及び一般管理費	4,002,639	3,719,823
営業利益又は営業損失(△)	△1,422,526	991,244
営業外収益		
受取利息	41,213	26,151
受取配当金	77,730	41,921
為替差益	—	13,421
持分法による投資利益	—	33,564
保険金収入	37,387	31,768
助成金収入	71,443	95,156
その他	64,147	69,328
営業外収益合計	291,922	311,312
営業外費用		
支払利息	26,747	28,176
為替差損	51,584	—
持分法による投資損失	5,767	—
その他	19,566	5,449
営業外費用合計	103,666	33,626
経常利益又は経常損失(△)	△1,234,269	1,268,931
特別利益		
投資有価証券売却益	—	129,969
特別利益合計	—	129,969
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,234,269	1,398,900
法人税等合計	292,139	469,833
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,526,409	929,067
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,981	92,853
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,541,390	836,214

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,526,409	929,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△932,329	443,380
為替換算調整勘定	△338,335	849,259
退職給付に係る調整額	49,854	9,243
持分法適用会社に対する持分相当額	9,090	156,657
その他の包括利益合計	△1,211,719	1,458,540
四半期包括利益	△2,738,128	2,387,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,753,110	2,294,754
非支配株主に係る四半期包括利益	14,981	92,853

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

四半期連結財務諸表提出会社における、貯蔵品の評価方法は、従来、移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更しております。

この変更は、基幹システムの変更を契機として、これに適するたな卸資産の評価方法を採用したことによるものであります。

なお、この会計方針の変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の影響について）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む前提に重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	7,215,552	6,228,374	13,443,927
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,215,552	6,228,374	13,443,927
セグメント損失(△)	△781,148	△641,378	△1,422,526

(注) セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	9,931,704	7,103,599	17,035,303
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,931,704	7,103,599	17,035,303
セグメント利益	488,546	502,697	991,244

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、当社基幹システムの変更に伴い、一部の費用の配賦方法を各セグメントの実態に合った方法に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。